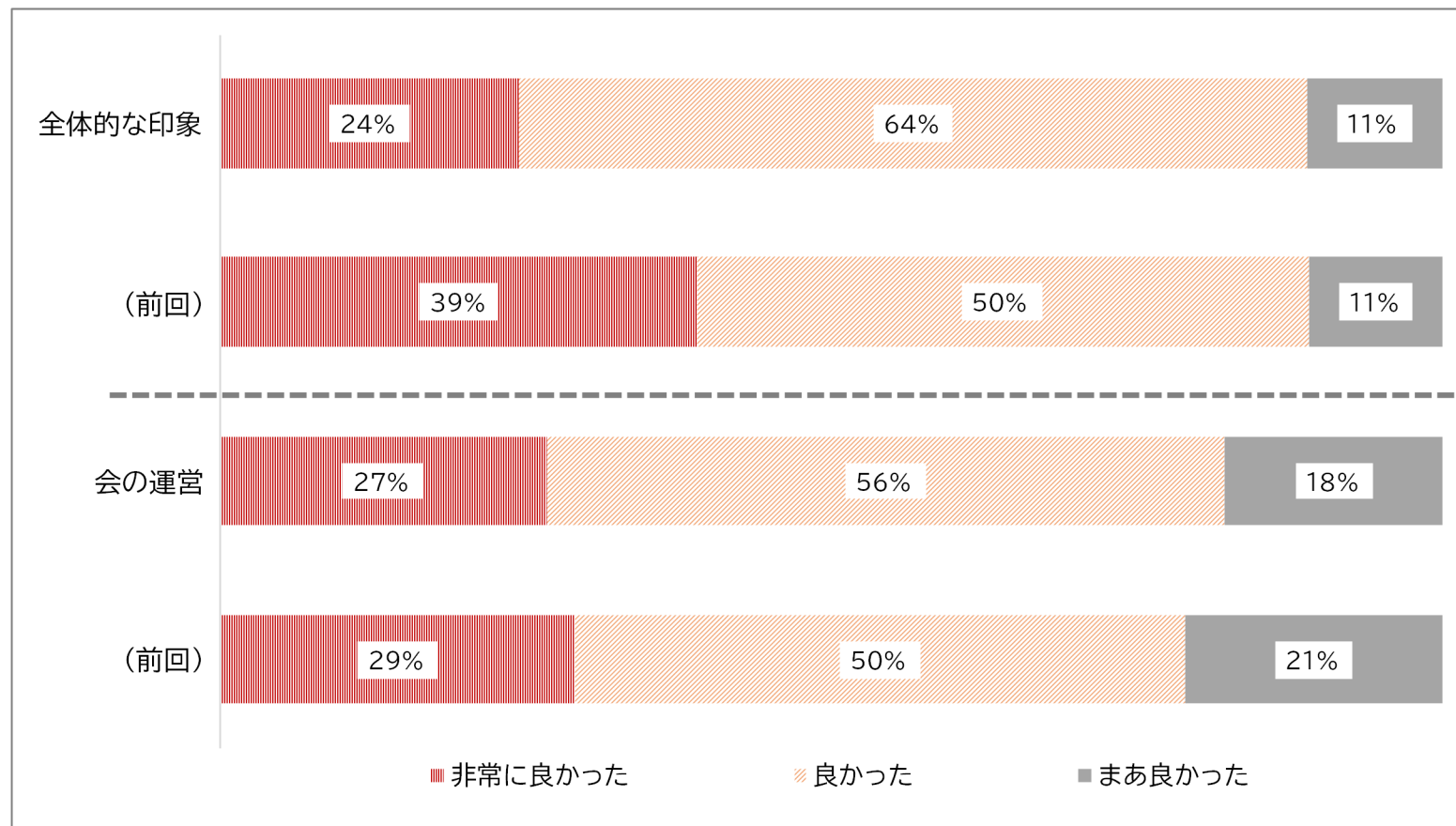


第2回「八街のいいね！を語ろう会」アンケート結果

令和6年10月25日

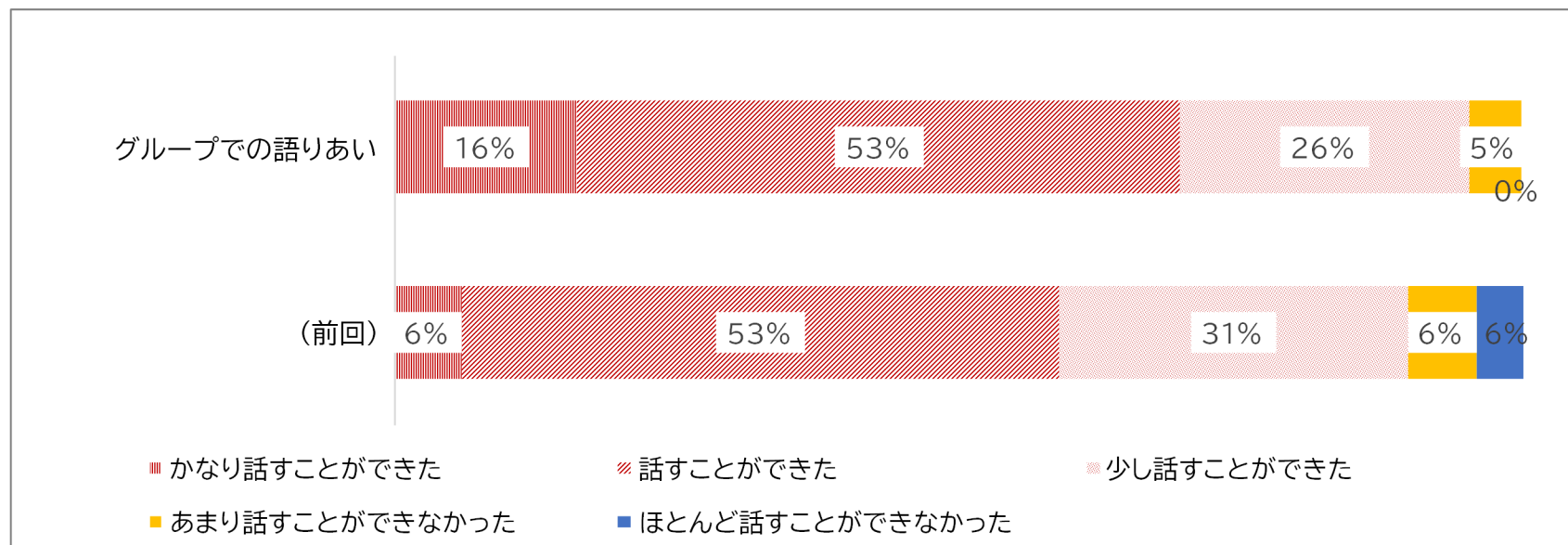
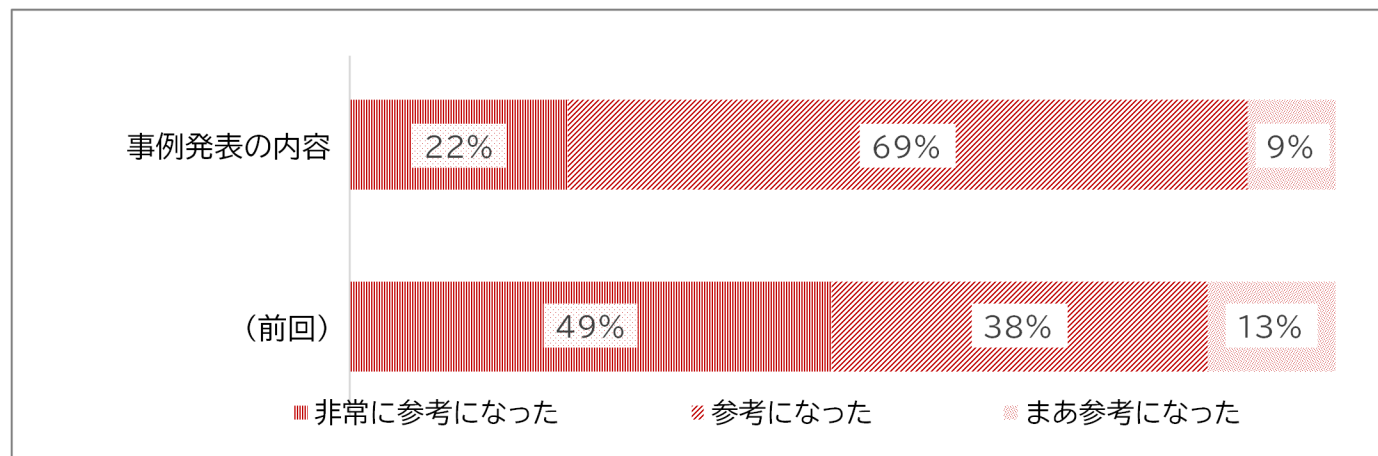
- 「八街のいいね！を語ろう会」に出席いただいた方のうち45名がアンケートに回答いただきました。
- いいね！の評価については、第1回(前回)でも同じ項目で回答いただいているので、評価比較を行っています。
- イベント満足度(非常に良かった/良かった)は89%と高いが、「非常に良かった」の回答割合は前回よりも下がる傾向がみられます。
- 会の運営評価は前回とほぼ変わらず、82%が「非常に/良かった」と回答しています。



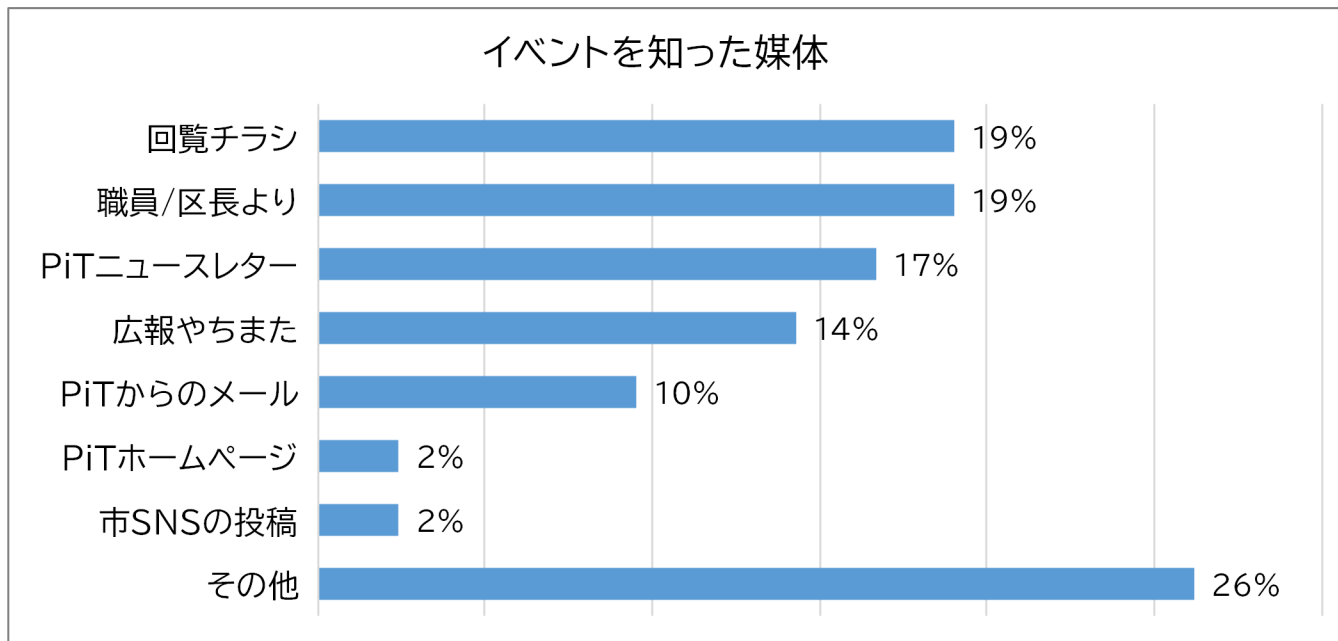
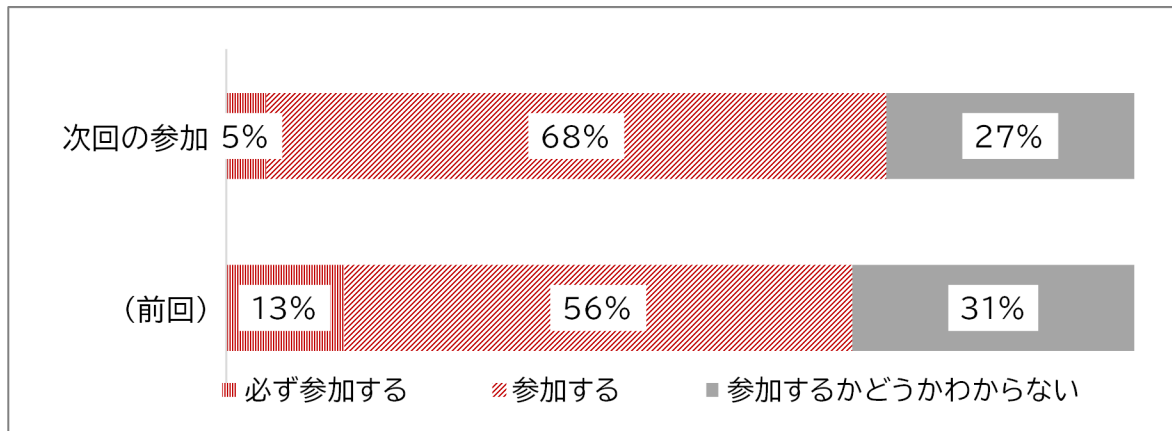
※第2回のアンケート回答者は45名。第1回の回答者は39名。

各設問の回答者ベースは、無回答者を除いての%表示です。回答ベースは省略。

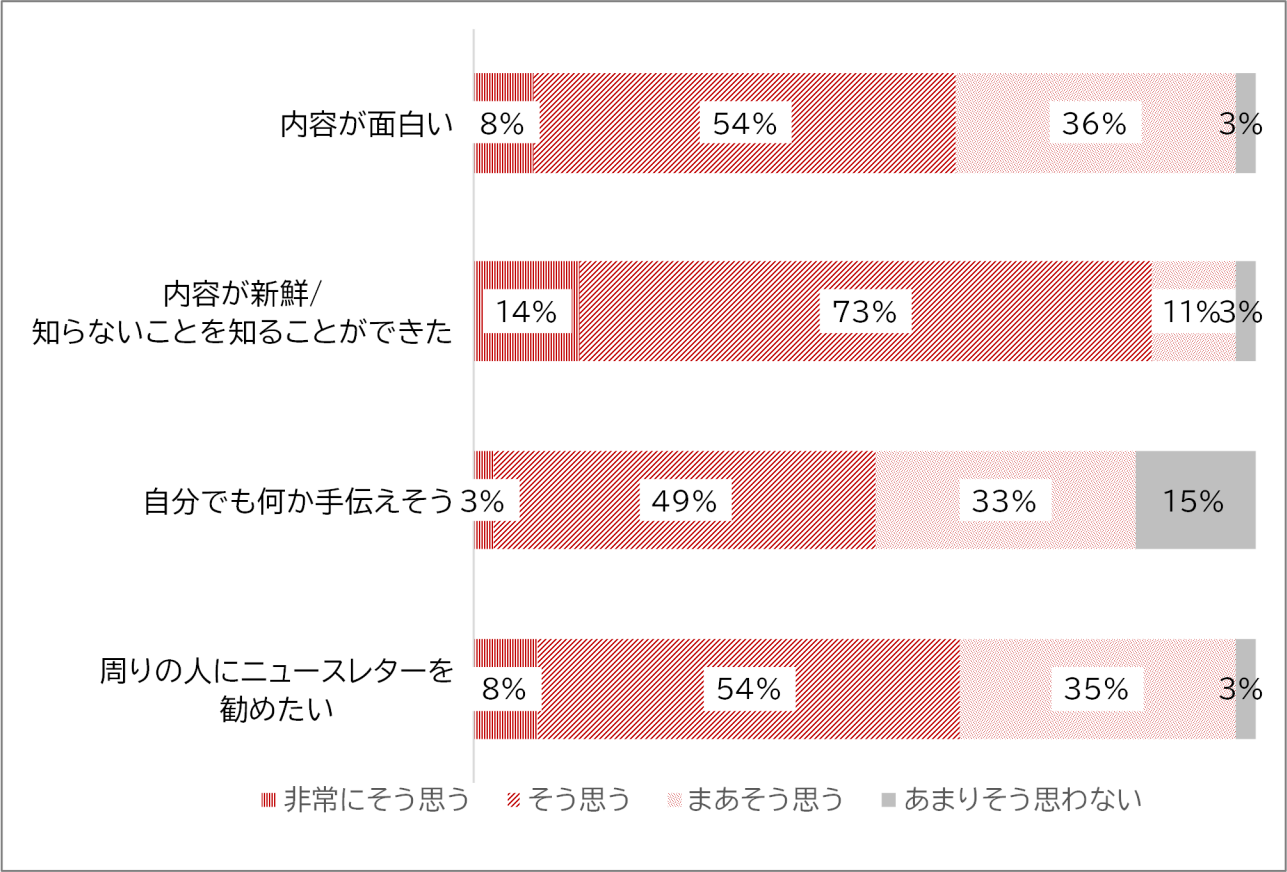
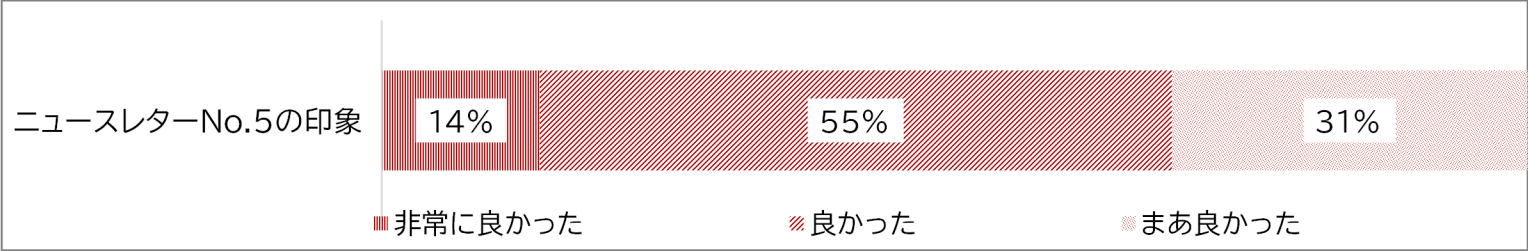
- 事例発表の内容についての満足度は高いが、前回と比べて「非常に参考になった」回答割合が下がっています。
- 発表内容のインパクトは今回よりも前回が高い結果となっていますが、前は「初めての企画」ということも考えられます。
- グループでの語り合いは、前回よりも「話せた」割合が増えています。アンケートでは質問していませんが、前回と今回参加者の重複度合いの高さも影響していると思われます。気軽に話せる環境を意識した運営を心がけました。



- 次回参加意向は、参加者全体の4分の3(73%)と高い。前回との変化は見られません。継続した開催を検討します。
- イベント告知媒体として有効だったのは、「回覧チラシ」と「PiTニュースレター」(ニュースレターを回覧しているので同じ意味と言えます)。 区長勉強会を兼ねていたので「職員/区長」からの口コミでも告知されました。ホームページ及び市SNSの貢献度は低い結果となっています。



- ニュースレターは、回答者の69%が「良かった」と回答しています。内容の「新鮮さ／知らないことを知ることができた」と「面白さ」が好意的な評価に繋がる結果となっています。ただ、『行動』を促すインパクトはまだ低い結果です(回答者の半数が「手伝えそう」と回答)。



性別	
男性	60%
女性	40%
年代	
40代	2%
50代	12%
60代	45%
70代	40%
社会活動	
自治会	81%
ボランティア	14%
民生児童委員	2%
行政関係	2%
社会活動はしていない	2%

事例発表として聞いてみたい内容

※自由回答の結果(すべての回答内容を掲載)

- 各区でやっているイベント紹介
- 聞き取れないところがあった、時間が足りない
- 協働のまちづくりの実践例
- 効果的な防災訓練
- 自主防災組織に関すること
- 自治会員をどうすれば増やせるか、他区の案をもっと知りたい、市からも加入を市民に推して欲しい
- スマイル倶楽部の運営
- 地域の安全・安心の取り組み
- 地域の活性化に役立つ内容
- どんな苦労があったか、組織作りの方策
- 防災
- 防災関係で実際にやっていること
- ボランティア活動
- 各テーブルが少し狭いので机をもう一台追加しては
- みどり台の車の配車サービスを参考にしたい
- みどり台の車を利用した人の話
- 皆さん、八街の将来を考えている